

新公立病院改革プランの点検・評価の概要 (平成28年度実績)

団 体 名	つがる西北五広域連合							
プランの名称	つがる西北五広域連合病院事業改革プラン							
策 定 日	平成	29	年	3	月	27	日	
対 象 期 間	平成	29	年度	～	平成	32	年度	
病院の現状	病院名	つがる総合病院			現在の経営形態	公営企業法全部適用		
	所在地	青森県五所川原市字岩木町12番地3						
	平成28年度当初の許可病床数 (平成28年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
	平成28年度中の許可病床数の変更状況 (平成〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
一般・療養病床の病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>先の自治体病院機能再編成により、当院は圏域の中核病院として高度専門的医療・救急医療を担うべく整備されたところであり、高度急性期及び急性期の必要病床数を確保する。</p> <p>また、圏域の高度急性期・急性期病床必要数を上回る77床については、急性期病院である役割を踏まえながら、圏域に不足する回復期病床への機能転換を進めていく。</p> <p>当連合の病院事業の中で、圏域の中核病院として高度・急性期を担う他、必要数に過剰となる病床については、回復期機能への機能転換を図る。</p> <p>平成28年度は、休棟していた6階西病棟(42床)を「地域包括ケア病棟」として開棟する。</p>						
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>地域包括ケアシステムに対しては、機能転換後の回復期病床を受け皿として圏域の在宅・施設等の急性増悪患者への医療提供を図っていく。</p> <p>五所川原、つがる及び鶴田地区を主な対象として、関係市町の地域包括ケアシステムの後方支援病棟を確保する。</p> <p>平成28年度は、休棟していた6階西病棟(42床)を「地域包括ケア病棟」として開棟する。</p>						
	③ 一般会計負担の考え方	<p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>						
④ 医療機能等指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度							
1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
二次救急搬送患者応需率(%)			97.8	98.0	98.3	98.5	98.8	
	95.9	97.6	99.1					
救急自動車搬送受入台数(台)			101.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	2,898	2,947	3,154	2,961	2,968	2,975	2,982	
院内がん登録件数(件)			106.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	1,134	1,159	1,211	1,263	1,315	1,367	1,420	
がん手術件数(件)			84.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	426	662	665	668	672	676	680	
リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)			90.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	64.7	55.3	56.3	57.3	58.3	59.3	60.3	
			114.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

リハビリテーション実施 単位数			74,121	76,280	78,439	80,598	82,756
	61,887	71,962	88,167				
			119.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
紹介先におけるサテラ イト医療機関の割合 (%)			20.1	20.9	21.7	22.5	23.4
	19.3	19.3	19.0				
			94.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
紹介元におけるサテラ イト医療機関の割合 (%)			19.5	20.1	20.7	21.3	21.8
	17.7	18.9	17.9				
			91.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工透析室臨床件数 (件)			2,633	2,695	2,757	2,819	2,880
	—	2,571	3,062				
			116.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤ 住民の理解のための取組	<p>外部委員による病院事業運営審議会により、点検・評価を行い、意見・提言を求めるとともに、目標の達成状況等については、ホームページ等で公表していく。</p> <p>平成29年4月25日(火)、「運営審議会」を開催し、当連合病院事業新改革プランの内容及び各施設の役割等について説明、意見交換を行い概ねの了承を得た。</p>						

② 経営 の 効 率 化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度							備考
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	1)収支改善に係るもの								
	経常収支比率(%)	91.2	96.5	96.6 95.6	98.3	98.2	98.2	100.1	
	医療収支比率(%)	78.4	85.1	99.0% 85.7 84.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.1
	病床利用率(一般)(%)	61.6	67.6	98.7% 70.3 69.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.3
	病床利用率(回復)(%)	0.0	0.0	99.4% 30.9 22.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.4
	病床利用率(精神)(%)	84.3	90.1	74.1% 90.0 78.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0
				87.3% 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2)経費削減に係るもの								
	職員給与費対医療収支比率(%)	63.0	56.4	57.5 59.3	56.0	56.8	57.9	58.4	
	委託費対医療収支比率(%)	8.8	10.0	97.0% 10.0 10.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.9
	材料費対医療収支比率(%)	28.8	27.6	96.2% 26.1 26.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.3
				97.8% 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3)収入確保に係るもの								
	一般科入院(急性期)	49,766	49,237	48,827 53,659	51,700	51,866	51,997	52,347	
	一般科入院(回復期)			109.9% 29,000	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	精神科入院	19,059	20,099	0.0% 20,000 20,057	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一般科外来	13,627	14,140	100.3% 14,140 15,864	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	精神科外来	9,339	9,438	112.2% 9,380 9,043	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
				96.4% 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4)経営の安定性に係るもの								
	常勤医師数(人)	47	47	49 47	49	50	50	50	
	看護職員数(人)	306	313	95.9% 321 313	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	リハビリ職員数(人)	17	21	97.5% 24 20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
				83.3% 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

② 目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
民間的経営手法の導入	事務職員については、構成市町からの派遣に頼るところであるが、研修機会の充実等、専門知識を有する職員の計画的な育成、人事管理に努め、経営感覚の涵養を図る。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、各施設の経営内容の把握に努め、その成果については、各施設の運営委員会における検討内容の充実に活用するとともに、当連合の経営管理等検討委員会において各施設からの報告する形式により有為な意見交換を行うようにしている。 県市町村課理財グループが行う研修事業への積極的参加。
事業規模・事業形態の見直し	先の自治体病院機能再編成により、当圏域の中核病院として医療資源の集約を行ったところであり、今後とも圏域の高度・急性期医療を担っていくことになるが、2025年の必要病床数を上回る病床については、地域包括ケアシステムとの連携を図るため、回復期病床への機能転換を検討していく。	つがる総合病院の回復期病棟(6西42床開棟)
経費削減・抑制対策	中核病院として、開院時に高度医療機器の整備を行ったところであるが、今後は、老朽化した医療機器の更新やがん放射線治療等の新規医療需要により、高度医療機器の整備が必要になることが想定されることから、医療需要に適した機器について、費用対効果や使用頻度等を提案し、計画的な整備に努めていく。	老朽化した医療機器の更新については採算性、必要性の検討を行った。 購入に係る必要性の精査。
収入増加・確保対策	地域完結型の医療提供体制において、高度急性期、急性期を担う病院として効果的な施設基準を選択することにより、医業収益の確保を図るとともに、診療報酬請求にあたっては、請求に係るスキルの向上に努め、請求精度の向上や返戻、査定減の件数の抑制に努めていく。	医事業務改善委員会による査定減内容の分析及び対応の検討。
その他	常勤医不足による診療機能の低下は、病院運営に与える影響が大きいことから、地域唯一の育育機関である弘前大学への働きかけに努め、特定診療科医師、救急医等の確保を図る。	弘前大学への働きかけに努めているところであるが、弘前大学においても、当連合で必要な診療科の教室医局の医師不足により、思うような確保が困難な状況にある。
再編・ネットワーク化に向けた取組	<p><平成24年度> 1中核病院、2サテライト病院、2サテライト診療所に機能再編し、つがる西北五広域連合に経営統合した。 <平成37年度末> 地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の更なる見直しの必要性についても検討する。 ①急性期機能の充実②がん医療提供機能の強化及び地域がん診療連携拠点病院の指定③圏域内自治体病院等への支援④圏域の在宅医療の提供</p> <p>当圏域自治体病院の再編・ネットワーク化は終わっているが、地域医療構想を見据えた各施設の機能役割について本改革プランに基づき検討している。 これまでどおり圏域の中核病院として高度・急性期を担うことに変わりはないが、係る地域医療構想必要病床数に対し余剰となる病床について、回復期病床への転換を検討している。</p>	
経営形態の見直しに向けた取組	<p>先の自治体病院機能再編成にともない、地方公営企業法の全部適用、つがる西北五広域連合への経営統合がされ、圏域の全市町が経営に参画する体制を構築済みである。 以外の選択肢としては独立行政法人(非公務員型)化であるが、一般会計からの繰入れについても国の繰出基準に準じることで、各施設の自助努力を促す仕組みとなっていることから、現経営形態を維持するものである。 これまでどおり、つがる西北五広域連合による一体的運営を行っていく。</p>	
総合評価	<p>西北五圏域の一般病床は自治体病院が担っている中、圏域の急性期医療を担う中核病院として開院してまだ4年であり、全稼働に注力している中途での一部病床の回復期への転換を視野に入れた調整や経営効率化を求められた中で、機能転換については、まずは、将来病床数、機能の考え方について提示等の検討のスタートを切れたこと、平成28年度収支決算についてはほぼ推計どおりである。</p>	
その他特記事項		

1. 収支計画（収益的収支）

(単位: 百万円、%)

区分		年度							
		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 医 業 収 益 a	8,072	8,401	8,286	▲ 115	8,735	8,710	8,641	8,677
	(1) 料 金 収 入	7,886	8,222	8,067	▲ 155	8,517	8,494	8,427	8,462
	(2) そ の 他	186	179	219	40	218	216	214	215
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	1,364	1,348	1,352	4	1,351	1,329	1,248	1,140
	(1) 他会計負担金・補助金	633	630	630	0	673	673	673	673
	(2) 国（県）補助金	22	21	20	▲ 1	26	24	24	24
	(3) 長期前受金戻入	630	608	609	1	564	544	463	355
	(4) そ の 他	79	89	93	4	88	88	88	88
	経 常 収 益 (A)	9,436	9,749	9,638	▲ 111	10,086	10,039	9,889	9,817
入	1. 医 業 費 用 b	9,485	9,799	9,791	▲ 8	9,954	9,923	9,773	9,525
	(1) 職 員 給 与 費 c	4,555	4,831	4,915	84	4,889	4,947	5,007	5,066
	(2) 材 料 費	2,228	2,252	2,210	▲ 42	2,277	2,249	2,231	2,195
	(3) 経 費	1,308	1,410	1,367	▲ 43	1,539	1,520	1,508	1,484
	(4) 減 価 償 却 費	1,361	1,270	1,270	0	1,208	1,167	987	740
	(5) そ の 他	33	36	29	▲ 7	41	40	40	40
	2. 医 業 外 費 用	291	290	292	2	304	304	299	278
	(1) 支 払 利 息	19	19	18	▲ 1	18	18	18	17
	(2) そ の 他	272	271	274	3	286	286	281	261
	経 常 費 用 (B)	9,776	10,089	10,083	▲ 6	10,258	10,227	10,072	9,803
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 340	▲ 340	▲ 445	▲ 105	▲ 172	▲ 188	▲ 183	14	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	2	0	0	0	1	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	4	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	2	0	0	0	▲ 3	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 338	▲ 340	▲ 445	▲ 105	▲ 175	▲ 188	▲ 183	14	
累 積 欠 損 金 (G)	2,350	2,690	2,795	105	2,865	3,053	3,236	3,222	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,691	1,773	1,683	▲ 90	1,717	1,696	1,682	1,689
	流 動 負 債 (イ)	1,682	1,682	1,679	▲ 3	1,715	1,557	1,520	1,520
	うち一時借入金	526	500	596	96	550	526	526	526
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)] (オ)	▲ 9	▲ 91	▲ 4	87	▲ 2	▲ 139	▲ 162	▲ 169	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	96.5	96.6	95.6	▲ 1.0	98.3	98.2	98.2	100.1	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 0.0	1.1	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.9	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.1	85.7	84.6	▲ 1.1	87.8	87.8	88.4	91.1	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	56.4	57.5	59.3	1.8	56.0	56.8	57.9	58.4	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	-	-	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	69.4	76.0	70.8	▲ 5.2	76.5	75.2	74.1	74.1	

団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (つがる総合病院)
--------------	-------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 企業債	30	17	17	0	50	50	50	50
	2. 他会計出資金	25	15	15	0	15	15	15	15
	3. 他会計負担金	166	169	169	0	166	189	110	91
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	3	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	224	201	201	0	231	254	175	156
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	224	201	201	0	231	254	175	156
支	1. 建設改良費	66	32	43	11	80	80	80	80
	2. 企業債償還金	329	333	333	0	328	377	220	183
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	395	365	376	11	408	457	300	263
	差引不足額 (B)-(A) (C)	171	164	175	11	177	203	125	107
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	171	164	175	11	177	203	125	107
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	171	164	175	11	177	203	125	107
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
	実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収益的収支	(0) 633	(0) 630	(0) 630	(0) (0)	(0) 673	(0) 673	(0) 673	(0) 673
資本的収支	(0) 191	(0) 184	(0) 184	(0) (0)	(0) 181	(0) 204	(0) 125	(0) 106
合計	(0) 824	(0) 814	(0) 814	(0) (0)	(0) 854	(0) 877	(0) 798	(0) 779

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

新公立病院改革プランの点検・評価の概要 (平成28年度実績)

団体名	つがる西北五広域連合																																																																																																			
プランの名称	つがる西北五広域連合病院事業改革プラン																																																																																																			
策定日	平成	29	年	3	月	27	日																																																																																													
対象期間	平成	29	年度	～	平成	32	年度																																																																																													
病院の現状	病院名	かなぎ病院			現在の経営形態	公営企業法全部適用																																																																																														
	所在地	青森県五所川原市金木町菅原13番1																																																																																																		
	平成28年度当初の許可病床数 (平成28年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																												
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																												
	平成28年度中の許可病床数の変更状況 (平成〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																												
一般・療養病床の病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																													
① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>地域医療構想における回復期病床の必要数は、246床で、急性期病床については、つがる総合病院を中核とすることから、かなぎ病院については、救急告示病院であり地域救急医療の受け皿として10床程度の急性期病床を配分し、以外については、過疎化や少子高齢化が一層進行する中で、「地域包括ケア病床」の導入を中心に病床機能の転換を図っていく。</p> <p>つがる総合病院の後方支援病院として、「地域包括ケア病床」を中心とする病床機能への転換を図り、主に北津軽郡地域の初期急性期、亜急性気等の入院医療の提供を図る。 平成28年度は、病院運営課作成の新改革プランへの対応について具体的検討に着手。</p>																																																																																																			
	<p>② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況</p> <p>地域包括ケアシステムに対しては、機能転換後の回復期病床を受け皿として北津軽郡を中心に在宅・施設等の急性増患患者への医療提供を図っていく。</p> <p>北津軽郡地域を主な対象として、関係市町の地域包括ケアシステムの後方支援病棟を確保する。 平成28年度は、訪問医療・看護のサービス提供の拡充を行った。</p>																																																																																																			
	<p>③ 一般会計負担の考え方</p> <p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																																																			
	<p>④ 医療機能等指標に係る数値目標</p> <p>上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>1)医療機能・医療品質に係るもの</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)</td> <td>35.6</td> <td>38.3</td> <td>40.6</td> <td>42.9</td> <td>45.2</td> <td>47.5</td> <td>49.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>36.4</td> <td>89.7%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)</td> <td>36.5</td> <td>43.5</td> <td>46.3</td> <td>49.1</td> <td>51.9</td> <td>54.7</td> <td>57.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>48.6</td> <td>105.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)</td> <td>2.6</td> <td>5.1</td> <td>6.1</td> <td>7.1</td> <td>8.1</td> <td>9.1</td> <td>10.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7.6</td> <td>124.6%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)</td> <td>72.2</td> <td>77.4</td> <td>78.9</td> <td>80.4</td> <td>81.9</td> <td>83.4</td> <td>85.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>81.7</td> <td>103.5%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリテーション実施単位数</td> <td>13,276</td> <td>24,251</td> <td>26,288</td> <td>28,325</td> <td>30,362</td> <td>32,399</td> <td>34,436</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>29,168</td> <td>111.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>							1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)	35.6	38.3	40.6	42.9	45.2	47.5	49.7				36.4	89.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)	36.5	43.5	46.3	49.1	51.9	54.7	57.4				48.6	105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)	2.6	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.2				7.6	124.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)	72.2	77.4	78.9	80.4	81.9	83.4	85.0				81.7	103.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	リハビリテーション実施単位数	13,276	24,251	26,288	28,325	30,362	32,399	34,436				29,168	111.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																																												
紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)	35.6	38.3	40.6	42.9	45.2	47.5	49.7																																																																																													
			36.4	89.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)	36.5	43.5	46.3	49.1	51.9	54.7	57.4																																																																																													
			48.6	105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)	2.6	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.2																																																																																													
			7.6	124.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)	72.2	77.4	78.9	80.4	81.9	83.4	85.0																																																																																													
			81.7	103.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
リハビリテーション実施単位数	13,276	24,251	26,288	28,325	30,362	32,399	34,436																																																																																													
			29,168	111.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
⑤ 住民の理解のための取組	<p>外部委員による病院事業運営審議会により、点検・評価を行い、意見・提言を求めるとともに、目標の達成状況等については、ホームページ等で公表していく。</p> <p>平成29年4月25日(火)、「運営審議会」を開催し、当連合病院事業新改革プランの内容及び各施設の役割等について説明、意見交換を行い概ねの了承を得た。</p>																																																																																																			

② 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度						備考	
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		32年度
1)収支改善に係るもの									
経常収支比率(%)				99.8	99.7	99.9	98.8	100.0	
		98.1	102.4	100.4					
医業収支比率(%)				100.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		73.6	77.8	76.1	76.7	76.9	75.9	77.4	
病床利用率(急性期)(%)				101.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		90.6	86.5	87.2	85.9	84.6	83.0	81.9	
病床利用率(回復期)(%)				103.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		0.0	31.5	74.8	73.7	72.5	71.2	70.3	
病床利用率(慢性期)(%)				104.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		60.5	73.3	81.8	81.8	81.8	81.8	81.8	
2)経費削減に係るもの									
職員給与費対医業収支比率(%)				86.9	87.7	87.5	89.1	87.4	
		87.4	84.2	86.9					
委託費対医業収支比率(%)				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		13.9	13.0	14.0	14.0	14.1	14.1	13.5	
材料費対医業収支比率(%)				107.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		17.0	15.2	14.2	14.7	14.7	14.7	14.2	
3)収入確保に係るもの									
一般科入院(急性期)				29,083	19,163	18,019	17,687	17,354	
		28,655	29,511	28,768					
一般科入院(回復期)				98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		0	27,108	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	
一般科入院(慢性期)				102.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		15,456	19,068	17,260	17,260	17,260	17,260	17,260	
一般科外来				105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		6,585	6,495	6,257	6,655	6,655	6,655	6,988	
4)経営の安定性に係るもの									
常勤医師数(人)				5	5	5	5	5	
		5	5	5					
看護職員数(人)				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		56	59	59	59	59	59	59	
リハビリ職員数(人)				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		5	7	8	8	8	8	8	
				75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

② 目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
民間の経営手法の導入	事務職員については、構成市町からの派遣に頼るところであるが、研修機会の充実等、専門知識を有する職員の計画的な育成、人事管理に努め、経営感覚の涵養を図る。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、各施設の経営内容の把握に努め、その成果については、各施設の運営委員会における検討内容の充実に活用するとともに、当連合の経営管理等検討委員会において各施設からの報告する形式により有為な意見交換を行うようにしている。 県市町村課理財グループが行う研修事業への積極的参加。
事業規模・事業形態の見直し	先の自治体病院機能再編成並びに2025年病床機能別必要数を勘案し、後方支援病院で救急告示病院である体制を維持しつつも、回復期病床を中心とする病床機能の転換を検討していく。 また、急性期医療の圏域中核病院である「つがる総合病院」の集約熟度に合わせながら、既存病床の適正数への削減を検討していく。	かなぎ病院における将来病床数及び機能の検討。訪問診療の体制の拡充を行っている。
経費削減・抑制対策	これまで、耐用年数を超えても使用してきた医療機器が少なくないことから、順次老朽化した医療機器については更新を行っているところであるが、今後も医療機器の更新については、医療需要に適した機器について、費用対効果や使用頻度等を勘案し、計画的な整備に努めていく。	老朽化した医療機器の更新については、必要度を精査するとともに、係る予算の上限を設定して更新を行っている。
収入増加・確保対策	地域完結型の医療提供体制において、後方支援病院として回復期を担うとともに、地域のかかりつけ医として定型的疾病にも対応していくことになることから、適正かつ効果的な施設基準を選択することにより、医業収益の確保を図るとともに、診療報酬請求にあたっては、請求に係るスキルの向上に努め、請求精度の向上や返戻、査定減の件数の抑制に努めていく。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、請求漏れの確認、請求可能項目の検討。
その他	常勤医不足による診療機能の低下は、病院運営に与える影響が大きいことから、地域唯一の医育機関である弘前大学への働きかけに努め、現行の内科、外科常勤医維持を図りつつ、地域の医療需要への対応を図る。	弘前大学への働きかけに努めているところであるが、弘前大学においても、当連合で必要な診療科の教室医局の医師不足により、思うような確保が困難な状況にある。
(3) 再編・ネットワーク化	<p><平成24年度> 1中核病院、2サテライト病院、2サテライト診療所に機能再編し、つがる西北五広域連合に経営統合した。</p> <p><平成37年度末> 地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の更なる見直しの必要性についても検討する。</p> <p>①病床規模の縮小②回復期・慢性期への機能分化③つがる総合病院との連携体制の構築④在宅医療(介護施設等を含む)の提供</p> <p>当圏域自治体病院の再編・ネットワーク化は終わっているが、地域医療構想を見据えた各施設の機能役割について本改革プランに基づき検討している。</p> <p>一般病棟病床及び療養病棟(回復期病床含)の構成であるが、地域医療構想に向けて病床数も含め、地域包括ケア病床を中心とする機能転換について検討に着手。</p>	
(4) 経営形態の見直し	<p>先の自治体病院機能再編成にともない、地方公営企業法の全部適用、つがる西北五広域連合への経営統合がされ、圏域の全市町が経営に参画する体制を構築済みである。</p> <p>以外の選択肢としては独立行政法人(非公務員型)化であるが、一般会計からの繰入れについても国の繰出基準に準じることで、各施設の自助努力を促す仕組みとなっていることから、現経営形態を維持するものである。</p> <p>これまでどおり、つがる西北五広域連合による一体的運営を行っていく。</p>	
総合評価	先の再編成により、中核病院の後方支援病院として、従前より医療機能を縮減した中で一般病床の需要が高く、療養病棟の一部を地域包括ケア病床に転換したことで、一般 → 回復 → 療養を内部で転棟できるので、平成28年度決算で経常収支黒字となったが、人口減少の影響もまた感じられているので、7年後の2025年を見据えた病床機能・病床数について検討に着手している。	
その他特記事項	先の再編成時、今後の患者の受療動向が見えないことから、老朽化した際に新築するのか、新築するとした場合その負担割合については将来決定するとされているが、先の議論からほぼ10年が経過して老朽化も進行し、地域医療構想により受療動向がある程度示されたので、構成市町と協議していく必要がある。	

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,179	1,236	1,226	▲ 10	1,248	1,230	1,218	1,262	
	(1) 料 金 収 入	1,140	1,194	1,184	▲ 10	1,206	1,188	1,176	1,219	
	(2) そ の 他	39	42	42	0	42	42	42	43	
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 医 業 外 収 益	418	404	409	5	397	391	389	390	
	(1) 他会計負担金・補助金	355	346	346	0	346	346	346	346	
	(2) 国（県）補助金	2	2	2	0	2	2	2	2	
	(3) 長期前受金戻入	58	54	57	3	46	40	38	39	
	(4) そ の 他	3	2	4	2	3	3	3	3	
	経 常 収 益 (A)	1,597	1,640	1,635	▲ 5	1,645	1,621	1,607	1,652	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	1,516	1,624	1,595	▲ 29	1,628	1,600	1,605	1,630
		(1) 職 員 給 与 費 c	993	1,074	1,065	▲ 9	1,095	1,076	1,085	1,103
		(2) 材 料 費	179	175	175	0	184	181	179	179
		(3) 経 費	222	254	234	▲ 20	233	235	241	255
(4) 減 価 償 却 費		119	118	118	0	109	102	94	87	
(5) そ の 他		3	3	3	0	7	6	6	6	
2. 医 業 外 費 用		44	19	33	14	22	22	22	22	
(1) 支 払 利 息		1	0	0	0	0	0	0	0	
(2) そ の 他		43	19	33	14	22	22	22	22	
経 常 費 用 (B)		1,560	1,643	1,628	▲ 15	1,650	1,622	1,627	1,652	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	37	▲ 3	7	10	▲ 5	▲ 1	▲ 20	0		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
純 損 益 (C)+(F)	37	▲ 3	7	10	▲ 5	▲ 1	▲ 20	0		
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 439	▲ 436	▲ 446	▲ 10	▲ 431	▲ 430	▲ 410	▲ 410		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	222	281	324	43	361	385	427	464	
	流 動 負 債 (イ)	163	173	165	▲ 8	158	174	169	166	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	差引 不良債務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 59	▲ 108	▲ 159	▲ 51	▲ 203	▲ 211	▲ 258	▲ 298	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.4	99.8	100.4	0.6	99.7	99.9	98.8	100.0		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 5.0	▲ 8.7	▲ 13.0	▲ 4.3	▲ 16.3	▲ 17.2	▲ 21.2	▲ 23.6		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	77.8	76.1	76.9	0.8	76.7	76.9	75.9	77.4		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	84.2	86.9	86.9	▲ 0.0	87.7	87.5	89.1	87.4		
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	-	-		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-		
病 床 利 用 率	79.8	88.0	86.2	▲ 1.8	87.0	85.4	84.2	83.6		

団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (かなぎ病院)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収 入	1. 企業債	37	17	17	0	37	20	20	20
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	5	14	14	0	15	9	10	5
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	6	0	0	0	6	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	48	31	31	0	58	29	30	25
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	48	31	31	0	58	29	30	25	
支 出	1. 建設改良費	44	17	18	1	43	20	20	20
	2. 企業債償還金	9	28	26	▲2	29	17	19	9
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	53	45	44	▲1	72	37	39	29
差引不足額 (B)-(A) (C)	5	14	13	▲1	14	8	9	4	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	5	14	13	▲1	14	8	9	4
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	5	14	13	▲1	14	8	9	4	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収益的収支	(0) 355	(0) 346	(0) 346	(0) (0)	(0) 346	(0) 346	(0) 346	(0) 346
資本的収支	(0) 5	(0) 14	(0) 14	(0) (0)	(0) 15	(0) 9	(0) 10	(0) 5
合計	(0) 360	(0) 360	(0) 360	(0) (0)	(0) 361	(0) 355	(0) 356	(0) 351

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

新公立病院改革プランの点検・評価の概要 (平成28年度実績)

団体名	つがる西北五広域連合																																																																																																			
プランの名称	つがる西北五広域連合病院事業改革プラン																																																																																																			
策定日	平成 29 年		3 月		27 日																																																																																															
対象期間	平成 29 年度		～		平成 32 年度																																																																																															
病院の現状	病院名	鱒ヶ沢病院			現在の経営形態	公営企業法全部適用																																																																																														
	所在地	青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字蒲生106番地10																																																																																																		
	平成28年度当初の許可病床数 (平成28年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																												
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																												
	平成28年度中の許可病床数の変更状況 (平成〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																												
一般・療養病床の病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																													
① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>地域医療構想における回復期病床の必要数は、246床で、急性期病床については、つがる総合病院を中核とすることから、鱒ヶ沢病院については、救急告示病院であり地域救急医療の受け皿として10床程度の急性期病床を配分し、以外については、過疎化や少子高齢化が一層進行する中で、「地域包括ケア病床」の導入を中心に病床機能の転換を図っていく。</p> <p>つがる総合病院の後方支援病院として、「地域包括ケア病床」を中心とする病床機能への転換を図り、主に西海岸地区の初期急性期、亜急性期等の入院医療の提供を図る。 平成28年度は、地域包括ケア病床の設置要件であるデータ提出体制について検討を行った。</p>																																																																																																			
	<p>② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況</p> <p>地域包括ケアシステムに対しては、機能転換後の回復期病床を受け皿として西津軽郡を中心に在宅・施設等の急性増悪患者への医療提供、さらにはへき地拠点病院として、へき地医療を担っていく。</p> <p>西海岸地域を主な対象として、関係市町の地域包括ケアシステムの後方支援病棟を確保する。 平成28年度は、一部地域包括ケア病床への転換に向け、データ提出体制の整備に着手。</p>																																																																																																			
	<p>③ 一般会計負担の考え方</p> <p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めている。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																																																			
	<p>④ 医療機能等指標に係る数値目標</p> <p style="text-align: center;">上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">1)医療機能・医療品質に係るもの</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">27.3</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">22.3</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">22.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">23.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">24.1</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">24.8</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">25.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">27.4</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">28.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">21.1</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">29.6</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">30.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">31.8</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">32.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">33.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">2.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">2.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">2.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">3.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">3.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">4.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">4.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">5.0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">31.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">32.1</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">81.8%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">33.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">35.3</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">36.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">38.5</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">40.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">126.7%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">109.5%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,751</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,570</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,751</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,932</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,113</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,295</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">92.8%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">92.8%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">7,293</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,570</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,121</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,932</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,113</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,295</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リハビリテーション実施単位数</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">92.8%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">92.8%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">7,293</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,570</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,121</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">8,932</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,113</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,295</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">9,477</td> </tr> </tbody> </table>							1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)	27.3	22.3	22.9	23.5	24.1	24.8	25.5		27.4	28.5	21.1	29.6	30.7	31.8	32.9	33.9	紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)	2.0	2.5	2.0	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	31.9	32.1	81.8%	33.7	35.3	36.9	38.5	40.0	介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)	126.7%	0.0%	109.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8,751	8,570	8,751	8,932	9,113	9,295	9,477	9,477	リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)	92.8%	0.0%	92.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7,293	8,570	8,121	8,932	9,113	9,295	9,477	9,477	リハビリテーション実施単位数	92.8%	0.0%	92.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7,293	8,570	8,121	8,932	9,113	9,295	9,477
1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																																												
紹介先におけるつがる総合病院の割合(%)	27.3	22.3	22.9	23.5	24.1	24.8	25.5																																																																																													
	27.4	28.5	21.1	29.6	30.7	31.8	32.9	33.9																																																																																												
紹介元におけるつがる総合病院の割合(%)	2.0	2.5	2.0	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0																																																																																												
	31.9	32.1	81.8%	33.7	35.3	36.9	38.5	40.0																																																																																												
介護福祉施設等からの入院患者紹介率(%)	126.7%	0.0%	109.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
	8,751	8,570	8,751	8,932	9,113	9,295	9,477	9,477																																																																																												
リハビリ施術者の自宅等に退院した患者の割合(%)	92.8%	0.0%	92.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
	7,293	8,570	8,121	8,932	9,113	9,295	9,477	9,477																																																																																												
リハビリテーション実施単位数	92.8%	0.0%	92.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																												
	7,293	8,570	8,121	8,932	9,113	9,295	9,477	9,477																																																																																												
⑤ 住民の理解のための取組	<p>外部委員による病院事業運営審議会により、点検・評価を行い、意見・提言を求めるとともに、目標の達成状況等については、ホームページ等で公表していく。</p> <p>平成29年4月25日(火)、「運営審議会」を開催し、当連合病院事業新改革プランの内容及び各施設の役割等について説明、意見交換を行い概ねの了承を得た。</p>																																																																																																			

② 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度							備考
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
1)収支改善に係るもの									
経常収支比率(%)				98.4	94.4	94.2	94.4	100.1	
		98.5	102.6	98.1					
医業収支比率(%)				99.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		83.5	87.5	83.9	80.4	80.7	80.7	84.6	
病床利用率(急性期)(%)				58.1	83.0	89.8	96.2	93.5	
		57.3	58.1	54.1					
病床利用率(回復期)(%)				93.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
							75.0	90.0	
2)経費削減に係るもの									
職員給与対医業収支比率(%)				58.5	60.5	60.5	60.5	60.0	
		58.3	54.1	59.0					
委託費対医業収支比率(%)				99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		10.0	8.3	9.7	9.6	9.6	9.6	9.0	
材料費対医業収支比率(%)				106.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		39.1	39.6	38.2	41.0	41.0	41.0	37.8	
				96.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3)収入確保に係るもの									
一般科入院(急性期)				30,148	30,148	30,148	30,148	30,148	
		29,346	30,950	31,582					
一般科入院(回復期)				104.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
							27,000	27,000	
一般科外来				16,872	18,143	18,143	18,143	18,143	
		16,516	17,228	16,884					
				100.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
4)経営の安定性に係るもの									
常勤医師数(人)				7	7	7	7	7	
		7	7	7					
看護職員数(人)				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		44	46	46	46	46	43	43	
リハビリ職員数(人)				97.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
				3	3	3	3	4	
				3					
		3	3	3					
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

		計画	実績
② 目標達成に向けた具体的な取組	民間的経営手法の導入	事務職員については、構成市町からの派遣に頼るところであるが、研修機会の充実等、専門知識を有する職員の計画的な育成、人事管理に努め、経営感覚の涵養を図る。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、各施設の経営内容の把握に努め、その成果については、各施設の運営委員会における検討内容の充実に活用するとともに、当連合の経営管理等検討委員会において各施設からの報告する形式により有為な意見交換を行うようにしている。 県市町村課理財グループが行う研修事業への積極的参加。
事業規模・事業形態の見直し		先の自治体病院機能再編成並びに2025年病床機能別必要数を提案し、後方支援病院で救急告示病院である体制を維持しつつも、回復期病床を中心とする病床機能の転換を検討していく。 また、急性期医療の圏域中核病院である「つがる総合病院」の集約熟度に合わせながら、既存病床の適正数への削減を検討していく。	髒ヶ沢病院における将来病床数及び機能の検討。
経費削減・抑制対策		これまで、耐用年数を超えても使用してきた医療機器が少なくないことから、順次老朽化した医療機器については更新を行っているところであるが、今後も医療機器の更新については、医療需要に適した機器について、費用対効果や使用頻度等を提案し、計画的な整備に努めていく。	老朽化した医療機器の更新については採算性、必要性の検討を行った。 X線一般撮影装置の計画的整備(更新の必要性は、平成27年度に明かであったが、当該年度は外科用イメージの整備を優先し、一般撮影装置については平成28年度に整備)
収入増加・確保対策		地域完結型の医療提供体制において、後方支援病院として回復期を担うとともに、へき地医療拠点病院として急性期医療を提供しつつ、地域のかかりつけ医として定型的疾病にも対応していくことになることから、適正かつ効果的な施設基準を選択することにより、医業収益の確保を図るとともに、診療報酬請求にあたっては、請求に係るスキルの向上に努め、請求精度の向上や返戻、査定減の件数の抑制に努めていく。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、請求漏れの確認、請求可能項目の検討。
その他		常勤医不足による診療機能の低下は、病院運営に与える影響が大きいことから、地域唯一の育育機関である弘前大学への働きかけに努め、現行の内科、外科常勤医維持を図りつつ、地域の医療需要への対応を図る。	弘前大学への働きかけに努めているところであるが、弘前大学においても、当連合で必要な診療科の教室医局の医師不足により、思うような確保が困難な状況にある。
再編・ネットワーク化に向けた取組	再編・ネットワーク化	<平成24年度> 1中核病院、2サテライト病院、2サテライト診療所に機能再編し、つがる西北五広域連合に経営統合した。 <平成37年度末> 地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の更なる見直しの必要性についても検討する。 ①病床規模の縮小②回復期・慢性期への機能分化③つがる総合病院との連携体制の構築④在宅医療(介護施設等を含む)の提供⑤へき地医療拠点病院を中心とした効率的なへき地等医療提供体制の整備 当圏域自治体病院の再編・ネットワーク化は終わっているが、地域医療構想を見据えた各施設の機能役割について本改革プランに基づき検討している。 一般病床100床(許可病床ベース)の構成であるが、地域医療構想に向けて病床数も含め、地域包括ケア病床を中心とする機能転換について検討に着手。	
経営形態の見直しに向けた取組	経営形態の見直し	先の自治体病院機能再編成にともない、地方公営企業法の全部適用、つがる西北五広域連合への経営統合がされ、圏域の全市町が経営に参画する体制を構築済みである。 以外の選択肢としては独立行政法人(非公務員型)化であるが、一般会計からの繰入れについても国の繰出基準に準じることで、各施設の自助努力を促す仕組みとなっていることから、現経営形態を維持するものである。 これまでどおり、つがる西北五広域連合による一体的運営を行っていく。	
総合評価		先の再編成により、中核病院の後方支援病院として従前より医療機能を縮減した中で、内科及び外科の医師の必要数確保がされ、脳血管疾患、高エネルギー外傷、産科婦人科、小児科以外の疾患についてほぼ対応できる急性期を担う病院として推移しており、平成28年度収支決算についてほぼ推計どおりである。 このような中で、人口減少の影響もまた感じられているので、7年後を見据え、また、連合医療機関間の連携を前提に病床規模及び病床数について検討していく。	
その他特記事項		先の再編成時、今後の患者の受療動向が見えないことから、老朽化した際に新築するのか、新築するとした場合その負担割合については将来決定するとされているが、先の議論からほぼ10年が経過して老朽化も進行し、地域医療構想により受療動向がある程度示されたので、構成市町と協議していく必要がある。	

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円、%)

区分		年度							
		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 医 業 収 益 a	1,638	1,608	1,588	▲ 20	1,645	1,688	1,659	1,671
	(1) 料 金 収 入	1,614	1,584	1,564	▲ 20	1,622	1,665	1,636	1,648
	(2) そ の 他	24	24	24	0	23	23	23	23
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	359	350	361	11	339	337	335	360
	(1) 他会計負担金・補助金	307	306	306	0	279	279	279	306
	(2) 国（県）補助金	14	14	14	0	14	14	14	14
	(3) 長期前受金戻入	34	28	37	9	44	41	39	37
	(4) そ の 他	4	2	4	2	2	3	3	3
	経 常 収 益 (A)	1,997	1,958	1,949	▲ 9	1,984	2,025	1,994	2,031
入	1. 医 業 費 用 b	1,872	1,916	1,912	▲ 4	2,045	2,092	2,055	1,976
	(1) 職 員 給 与 費 c	886	941	937	▲ 4	995	1,021	1,003	1,002
	(2) 材 料 費	648	615	627	12	674	692	680	631
	(3) 経 費	249	260	248	▲ 12	281	288	283	257
	(4) 減 価 償 却 費	85	94	94	0	89	86	84	81
	(5) そ の 他	4	6	6	0	6	5	5	5
	2. 医 業 外 費 用	74	74	74	0	57	58	57	52
	(1) 支 払 利 息	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) そ の 他	74	74	74	0	57	58	57	52
	出 経 常 費 用 (B)	1,946	1,990	1,986	▲ 4	2,102	2,150	2,112	2,028
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	51	▲ 32	▲ 37	▲ 5	▲ 118	▲ 125	▲ 118	3	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	57	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	57	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	108	▲ 32	▲ 37	▲ 5	▲ 118	▲ 125	▲ 118	3	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 579	▲ 547	▲ 492	55	▲ 429	▲ 304	▲ 186	▲ 189	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	533	455	525	70	417	585	606	629
	流 動 負 債 (イ)	232	263	246	▲ 17	281	268	252	249
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 301	▲ 192	▲ 279	▲ 87	▲ 136	▲ 317	▲ 354	▲ 380	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.6	98.4	98.1	▲ 0.3	94.4	94.2	94.4	100.1	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 18.4	▲ 11.9	▲ 17.6	▲ 5.7	▲ 8.3	▲ 18.8	▲ 21.3	▲ 22.7	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	87.5	83.9	83.1	▲ 0.8	80.4	80.7	80.7	84.6	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	54.1	58.5	59.0	0.5	60.5	60.5	60.5	60.0	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	-	-	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	58.2	58.1	54.1	▲ 4.0	83.0	89.8	92.8	91.2	

団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (鱒ヶ沢病院)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 企業債	52	41	40	▲1	77	30	30	30
	2. 他会計出資金	0	1	1	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	1	12	12	0	17	17	18	7
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	6	4	7	3	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	59	58	60	2	94	47	48	37
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	59	58	60	2	94	47	48	37
支	1. 建設改良費	59	44	65	21	104	30	30	30
	2. 企業債償還金	3	24	24	0	34	34	35	14
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	62	68	89	21	138	64	65	44
	差引不足額 (B)-(A) (C)	3	10	29	19	44	17	17	7
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	3	10	29	19	44	17	17	7
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	3	10	29	19	44	17	17	7
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
	実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収益的収支	(0) 307	(0) 306	(0) 306	(0) (0)	(0) 279	(0) 279	(0) 279	(0) 306
資本的収支	(0) 1	(0) 13	(0) 13	(0) (0)	(0) 17	(0) 17	(0) 18	(0) 7
合計	(0) 308	(0) 319	(0) 319	(0) (0)	(0) 296	(0) 296	(0) 297	(0) 313

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

新公立病院改革プランの点検・評価の概要 (平成28年度実績)

団体名	つがる西北五広域連合																																																																		
プランの名称	つがる西北五広域連合病院事業改革プラン																																																																		
策定日	平成	29	年	3	月	27	日																																																												
対象期間	平成	29	年度	～	平成	32	年度																																																												
病院の現状	病院名	つがる市民診療所			現在の経営形態	公営企業法全部適用																																																													
	所在地	青森県つがる市木造千年4番地																																																																	
	平成28年度当初の許可病床数 (平成28年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																											
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																											
	平成28年度中の許可病床数の変更状況 (平成〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																											
一般・療養病床の病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																												
① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>先の自治体病院機能再編成により、中核病院との連携により、つがる市・西津軽郡地域の定型的疾病に対する初期医療や在宅医療を担っていくとされたところであり、今後は、日常の診療に加えてより一層、地域の公的診療所として「かかりつけ医」機能の充実強化を図っていく。</p> <p>つがる総合病院の後方支援診療所として、地域における初期医療、適切な医療機関への紹介、通院による慢性期医療の提供等の「かかりつけ医」機能の向上を図る。 平成28年度は、健診・治療の要である上部・下部消化管スコープの更新を行った。</p>																																																																		
	<p>地域包括ケアシステムに対しては、無床であるものの地域に公的医療機関が乏しいことから、急性期後の患者さんへの慢性期医療、さらには看取り、訪問診療といった地域住民に対するかかりつけ医として地域に根ざした医療の提供を図っていく。</p> <p>つがる市地域包括ケアシステムの後方支援診療所として、訪問医療、看取り等を行っていく。 平成28年度は、訪問医療の更なる提供に向けて、つがる市在宅医療介護連携実務者会議による検討を行うとともに、体制の拡充を行った。</p>																																																																		
	<p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																		
② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																		
③ 一般会計負担の考え方	<p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																		
④ 医療機能等指標に係る数値目標	<p>上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">1) 医療機能・医療品質に係るもの</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中核病院への要入院患者紹介率(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">21.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">22.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">22.8</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">22.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">23.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">23.1</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">23.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">29.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">130.3%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護施設等への訪問医療の割合(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.2</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.4</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.6</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.8</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.1</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">50.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">つがる市民診療所における特定健診の受診率(%)</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">16.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">11.6</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">11.7</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">11.8</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">11.9</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">12.0</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">12.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">11.6</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">99.1%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">0.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							1) 医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	中核病院への要入院患者紹介率(%)	21.7	22.7	22.8	22.9	23.0	23.1	23.3		29.7	130.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		介護施設等への訪問医療の割合(%)	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0		0.1	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		つがる市民診療所における特定健診の受診率(%)	16.7	11.6	11.7	11.8	11.9	12.0	12.1		11.6	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
1) 医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																											
中核病院への要入院患者紹介率(%)	21.7	22.7	22.8	22.9	23.0	23.1	23.3																																																												
	29.7	130.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																												
介護施設等への訪問医療の割合(%)	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0																																																												
	0.1	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																												
つがる市民診療所における特定健診の受診率(%)	16.7	11.6	11.7	11.8	11.9	12.0	12.1																																																												
	11.6	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																												
⑤ 住民の理解のための取組	<p>外部委員による病院事業運営審議会により、点検・評価を行い、意見・提言を求めるとともに、目標の達成状況等については、ホームページ等で公表していく。</p> <p>平成29年4月25日(火)、「運営審議会」を開催し、当連合病院事業新改革プランの内容及び各施設の役割等について説明、意見交換を行い概ねの了承を得た。</p>																																																																		

② 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度							備考
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	1)収支改善に係るもの								
	経常収支比率(%)	108.4	127.2	111.1 112.5	101.0	101.5	101.9	102.4	
	医業収支比率(%)	76.2	76.0	66.3 68.8	60.4	60.6	60.7	60.8	
				103.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	2)経費削減に係るもの								
	職員給与費対医業収支比率(%)	62.6	67.7	83.0 81.8	94.3	94.0	94.2	93.9	
	委託費対医業収支比率(%)	16.2	19.7	23.9 19.8	20.1	20.5	20.8	21.1	
	材料費対医業収支比率(%)	12.4	14.3	14.4 13.5	17.3	17.4	17.3	17.2	
				106.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3)収入確保に係るもの								
	一般科外来	8,341	8,683	8,682 8,739	8,588	8,600	8,689	8,690	
				100.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	4)経営の安定性に係るもの								
	常勤医師数(人)	1	1	1 1	1	2	2	2	
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	看護職員数(人)	5	5	5 5	5	5	5	5	
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

② 目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
民間的経営手法の導入	事務職員については、構成市町からの派遣に頼るところであるが、研修機会の充実等、専門知識を有する職員の計画的な育成、人事管理に努め、経営感覚の涵養を図る。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、各施設の経営内容の把握に努め、その成果については、各施設の運営委員会における検討内容の充実に活用するとともに、当連合の経営管理等検討委員会において各施設からの報告する形式により有為な意見交換を行うようにしている。 県市町村課理財グループが行う研修事業への積極的参加。
事業規模・事業形態の見直し	先の自治体病院機能再編成により、病院から中核病院のサテライト診療所に機能再編成したところであり、急性期医療や高度医療を必要とする患者の「つがる総合病院」への適切な紹介に努めるとともに、医療資源の乏しい当圏域において、公的診療所として、訪問診療、訪問看護の介護連携についても体制整備を図るとともに取り組みを進めていく。	無床診療所であり、つがる市地域包括ケアシステムにおける介護との連携を検討している。
経費削減・抑制対策	診療所の新設にあたり、主要な医療機器については概ね整備されたところであるが、今後は耐用年数を見据えて老朽化した医療機器の更新を行うことになるが、医療機器の更新については、医療需要に適した機器について、費用対効果や使用頻度等を勘案し、計画的な整備に努めていく。	老朽化した医療機器の更新については採算性、必要性の検討を行った。 生化学分析装置の納品後の稼働できる日数を勘案して、平成29年度に予算繰越。
収入増加・確保対策	地域完結型の医療提供体制において、後方支援診療所として地域に密着した公的診療所として、住民の医療に寄り添っていくことになることから、適正かつ効果的な施設基準を選択することにより、医業収益の確保を図るとともに、診療報酬請求にあたっては、請求に係るスキルの向上に努め、請求精度の向上や返戻、査定減の件数の抑制に努めていく。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、請求漏れの確認、請求可能項目の検討。
その他	常勤医不足による診療機能の低下は、診療所運営に与える影響が大きいことから、地域唯一の医育機関である弘前大学への働きかけに努め、日常の診療に加えて、在宅医療への対応も視野に入ってくることから、現行の内科常勤医、外科非常勤医の維持を図りつつ、常勤医1名増の2名体制の確立に努め、地域の医療需要への対応を図る。	弘前大学への働きかけに努めているところであるが、弘前大学においても、当連合で必要な診療科の教室医局の医師不足により、思うような確保が困難な状況にある。
③ 再編・ネットワーク化	<p><平成24年度> 1中核病院、2サテライト病院、2サテライト診療所に機能再編し、つがる西北五広域連合に経営統合した。</p> <p><平成37年度末> 地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の更なる見直しの必要性についても検討する。</p> <p>①つがる総合病院との連携体制の構築②在宅医療(介護施設等を含む)の提供</p> <p>当圏域自治体病院の再編・ネットワーク化は終わっているが、地域医療構想を見据えた各施設の機能役割について本改革プランに基づき検討している。</p> <p>つがる市の地域包括ケアシステムの後方支援診療所として、無床診療所であることを踏まえ、訪問診療・看取りの提供体制や介護との連携体制について検討中。</p>	
④ 経営形態の見直し	<p>先の自治体病院機能再編成にともない、地方公営企業法の全部適用、つがる西北五広域連合への経営統合がされ、圏域の全市町が経営に参画する体制を構築済みである。</p> <p>以外の選択肢としては独立行政法人(非公務員型)化であるが、一般会計からの繰入れについても国の繰出基準に準じることで、各施設の自助努力を促す仕組みとなっていることから、現経営形態を維持するものである。</p> <p>これまでどおり、つがる西北五広域連合による一体的運営を行っていく。</p>	
総合評価	先の再編成により、中核病院の後方支援診療所に転換したところであるが、介護療養病床の廃止が決定されたこと等も相まって、在宅医療について、つがる市との医療介護連携を図っている。	
その他特記事項		

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円、%)

区分		年度							
		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 医 業 収 益 a	371	341	357	16	353	351	347	344
	(1) 料 金 収 入	349	322	336	14	335	333	329	326
	(2) そ の 他	22	19	21	2	18	18	18	18
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	269	241	244	3	249	249	248	248
	(1) 他会計負担金・補助金	237	216	216	0	225	225	225	225
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	30	24	26	2	23	23	22	22
	(4) そ の 他	2	1	2	1	1	1	1	1
	経 常 収 益 (A)	640	582	601	19	602	600	595	592
入	1. 医 業 費 用 b	488	514	519	5	584	579	572	566
	(1) 職 員 給 与 費 c	251	283	292	9	333	330	327	323
	(2) 材 料 費	53	49	48	▲1	61	61	60	59
	(3) 経 費	103	101	98	▲3	113	112	110	110
	(4) 減 価 償 却 費	80	79	79	0	76	74	73	72
	(5) そ の 他	1	2	2	0	1	2	2	2
	2. 医 業 外 費 用	15	10	15	5	12	12	12	12
	(1) 支 払 利 息	1	1	1	0	1	1	1	1
	(2) そ の 他	14	9	14	5	11	11	11	11
	出 経 常 費 用 (B)	503	524	534	10	596	591	584	578
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	137	58	67	9	6	9	11	14	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	137	58	67	9	6	9	11	14	
累 積 欠 損 金 (G)	219	161	152	▲9	155	146	135	121	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	659	767	811	44	811	995	1,090	1,188
	流 動 負 債 (イ)	61	63	57	▲6	67	55	56	57
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲598	▲704	▲754	▲50	▲744	▲940	▲1,034	▲1,131	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	127.2	111.1	112.5	1.4	101.0	101.5	101.9	102.4	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲161.2	▲206.5	▲211.2	▲4.7	▲210.8	▲267.8	▲298.0	▲328.8	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	76.0	66.3	68.8	2.5	60.4	60.6	60.7	60.8	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	67.7	83.0	81.8	▲1.2	94.3	94.0	94.2	93.9	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	-	-	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	-	-	-	-	-	-	-	-	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 企業債	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	10	28	28	0	6	28	28	28
	3. 他会計負担金	9	7	9	2	9	12	5	5
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	19	35	37	2	15	40	33	33
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	13	13	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0		0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	19	22	24	2	15	40	33	33
支	1. 建設改良費	21	30	30	0	11	55	55	55
	2. 企業債償還金	17	17	17	0	17	23	10	10
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	38	47	47	0	28	78	65	65
	差引不足額 (B)-(A) (C)	19	25	23	▲2	13	38	32	32
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	19	25	23	▲2	13	38	32	32
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	19	25	23	▲2	13	38	32	32
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
	実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収益的収支	(0) 237	(0) 216	(0) 216	(0) (0)	(0) 225	(0) 225	(0) 225	(0) 225
資本的収支	(0) 19	(0) 35	(0) 37	(0) (2)	(0) 15	(0) 40	(0) 33	(0) 33
合計	(0) 256	(0) 251	(0) 253	(0) (2)	(0) 240	(0) 265	(0) 258	(0) 258

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

新公立病院改革プランの点検・評価の概要 (平成28年度実績)

団体名	つがる西北五広域連合																																																																																		
プランの名称	つがる西北五広域連合病院事業改革プラン																																																																																		
策定日	平成	29	年	3	月	27	日																																																																												
対象期間	平成	29	年度	～	平成	32	年度																																																																												
病院の現状	病院名	鶴田診療所			現在の経営形態	公営企業法全部適用																																																																													
	所在地	青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾34番地																																																																																	
	平成28年度当初の許可病床数 (平成28年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																											
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																											
	平成28年度中の許可病床数の変更状況 (平成〇年〇月〇日変更)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																											
一般・療養病床の病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																												
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>先の自治体病院機能再編成により、中核病院との連携により、鶴田町・北津軽郡地域の定型的疾病に対する初期医療や在宅医療を担っていくとされたところであり、今後は、日常の診療に加えてより一層、地域の公的診療所として「かかりつけ医」機能の充実強化を図っていく。</p> <p>つがる総合病院の後方支援診療所として、地域における初期医療、適切な医療機関への紹介、通院による慢性期医療の提供等の「かかりつけ医」機能の向上を図る。</p> <p>平成28年度は、検査機能の向上を図るため、つがる総合病院への適切な紹介、健診機能の向上を図るため、大腸CT用自動炭酸ガス送気装置の整備を行った。</p>																																																																																	
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>地域包括ケアシステムに対しては、無床であるものの地域に公的医療機関が乏しいことから、急性期後の患者さんへの慢性期医療、さらには看取り、訪問診療といった地域住民に対するかかりつけ医として地域に根ざした医療の提供を図っていく。</p> <p>鶴田町地域包括ケアシステムの後方支援診療所として、訪問医療、看取り等を行っていく。</p> <p>平成28年度は、訪問診療の継続とともに、現体制でできるところでのサービス提供の拡充を図った。</p>																																																																																	
	③ 一般会計負担の考え方	<p>各市町ごとに異なる運用も見られた一般会計からの負担については、先の機能再編成に際し、当連合病院事業に対する一般会計負担金の負担割合を定め、総務省の繰出基準に基づいた「連合基準」に統一を図ったところであり、引き続き、総務省繰出基準に基づいた負担を求めていく。</p> <p>総務省繰出基準に基づく当連合ルールにより、一般会計から繰入。</p>																																																																																	
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	<p>上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>1)医療機能・医療品質に係るもの</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中核病院への要入院患者紹介率(%)</td> <td></td> <td>65.5</td> <td>68.1</td> <td>70.7</td> <td>73.3</td> <td>75.9</td> <td>78.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>75.0</td> <td>110.1%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>44.1</td> <td>48.0</td> <td>51.9</td> <td>55.8</td> <td>59.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">介護施設等への訪問医療の割合(%)</td> <td></td> <td>40.2</td> <td>32.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>73.5%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鶴田診療所における特定健診の受診率(%)</td> <td></td> <td>0.8</td> <td>1.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>163.6%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	中核病院への要入院患者紹介率(%)		65.5	68.1	70.7	73.3	75.9	78.6				75.0	110.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			44.1	48.0	51.9	55.8	59.8		介護施設等への訪問医療の割合(%)		40.2	32.4								73.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				1.1	1.3	1.5	1.8	2.1		鶴田診療所における特定健診の受診率(%)		0.8	1.8								163.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																											
中核病院への要入院患者紹介率(%)		65.5	68.1	70.7	73.3	75.9	78.6																																																																												
			75.0	110.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																											
			44.1	48.0	51.9	55.8	59.8																																																																												
介護施設等への訪問医療の割合(%)		40.2	32.4																																																																																
			73.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																												
			1.1	1.3	1.5	1.8	2.1																																																																												
鶴田診療所における特定健診の受診率(%)		0.8	1.8																																																																																
			163.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																												
⑤ 住民の理解のための取組	<p>外部委員による病院事業運営審議会により、点検・評価を行い、意見・提言を求めるとともに、目標の達成状況等については、ホームページ等で公表していく。</p> <p>平成29年4月25日(火)、「運営審議会」を開催し、当連合病院事業新改革プランの内容及び各施設の役割等について説明、意見交換を行い概ねの了承を得た。</p>																																																																																		

② 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標		上段(青色セル):目標、中段:実績、下段:達成度						備考
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
1)収支改善に係るもの									
経常収支比率(%)				92.9	99.7	101.7	104.1	107.3	
		85.6	90.3	101.0					
医業収支比率(%)				108.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		60.0	60.8	54.5	59.5	60.8	61.6	64.4	
				109.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2)経費削減に係るもの									
職員給与費対医業収支比率(%)				105.5	91.7	92.1	92.0	92.4	
		93.4	90.7	94.0					
委託費対医業収支比率(%)				112.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		18.8	21.6	21.6	22.1	22.3	22.5	22.7	
材料費対医業収支比率(%)				95.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		8.7	10.0	10.3	11.0	11.2	11.4	11.0	
				105.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3)収入確保に係るもの									
一般科外来				6,020	6,640	6,642	6,751	6,753	
		5,878	6,020	6,139					
				102.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
4)経営の安定性に係るもの									
常勤医師数(人)				1	1	1	2	2	
		1	1	1					
看護職員数(人)				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		4	3	4	4	4	4	4	
				75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

② 目標達成に向けた具体的な取組	計画	実績
民間的経営手法の導入	事務職員については、構成市町からの派遣に頼るところであるが、研修機会の充実等、専門知識を有する職員の計画的な育成、人事管理に努め、経営感覚の涵養を図る。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、各施設の経営内容の把握に努め、その成果については、各施設の運営委員会における検討内容の充実に活用するとともに、当連合の経営管理等検討委員会において各施設からの報告する形式により有為な意見交換を行うようにしている。 県市町村課理財グループが行う研修事業への積極的参加。
事業規模・事業形態の見直し	先の自治体病院機能再編成により、病院から中核病院のサテライト診療所に機能再編成したところであり、急性期医療や高度医療を必要とする患者の「つがる総合病院」への適切な紹介に努めるとともに、医療資源の乏しい当圏域において、公的診療所として、訪問診療、訪問看護の介護連携についても体制整備を図るとともに取り組みを進めていく。	現在行っている訪問診療の継続及び検診への取組みを進めている。
経費削減・抑制対策	診療所の新設にあたり、主要な医療機器については概ね整備されたところであるが、今後は耐用年数を見据えて老朽化した医療機器の更新を行うことになるが、医療機器の更新については、医療需要に適した機器について、費用対効果や使用頻度等を勘案し、計画的な整備に努めていく。	老朽化した医療機器の更新については採算性、必要性の検討を行った。 大腸CT用炭酸ガス自動送気装置の採算性と検討期間を確保するため、補正予算対応にて整備した。
収入増加・確保対策	地域完結型の医療提供体制において、後方支援診療所として地域に密着した公的診療所として、住民の医療に寄り添っていくことになることから、適正かつ効果的な施設基準を選択することにより、医業収益の確保を図るとともに、診療報酬請求にあたっては、請求に係るスキルの向上に努め、請求精度の向上や返戻、査定減の件数の抑制に努めていく。	経営コンサルタント(日本経営株)の支援を受けて、請求漏れの確認、請求可能項目の検討。
その他	常勤医不足による診療機能の低下は、診療所運営に与える影響が大きいことから、地域唯一の医療機関である弘前大学への働きかけに努め、日常の診療に加えて、在宅医療への対応も視野に入ることから、現行の内科常勤医、外科非常勤医の維持を図りつつ、常勤医1名増の2名体制の確立に努め、地域の医療需要への対応を図る。	弘前大学への働きかけに努めているところであるが、弘前大学においても、当連合で必要な診療科の教室医局の医師不足により、思うような確保が困難な状況にある。
③ 再編・ネットワーク化に向けた取組	<p><平成24年度> 1中核病院、2サテライト病院、2サテライト診療所に機能再編し、つがる西北五広域連合に経営統合した。</p> <p><平成37年度末> 地域医療構想で示された下記の機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら、圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編・ネットワーク化の更なる見直しの必要性についても検討する。</p> <p>①つがる総合病院との連携体制の構築②在宅医療(介護施設等を含む)の提供</p> <p>当圏域自治体病院の再編・ネットワーク化は終わっているが、地域医療構想を見据えた各施設の機能役割について本改革プランに基づき検討している。 係る地域医療構想に向けて、無床診療所であることから、中核病院への患者紹介の円滑化、訪問診療の継続、健診機能の強化等に取り組んでいる。</p>	
④ 経営形態の見直しに向けた取組	先の自治体病院機能再編成にともない、地方公営企業法の全部適用、つがる西北五広域連合への経営統合がされ、圏域の全市町が経営に参画する体制を構築済みである。 以外の選択肢としては独立行政法人(非公務員型)化であるが、一般会計からの繰入れについても国の繰出基準に準じることで、各施設の自助努力を促す仕組みとなっていることから、現経営形態を維持するものである。 これまでどおり、つがる西北五広域連合による一体的運営を行っていく。	
総合評価	先の再編成により、中核病院の後方支援診療所に転換したところであるが、介護療養病床の廃止が決定されたこと等もあり、在宅医療を継続するとともに、検診の充実に努めている。	
その他特記事項		

1. 収支計画（収益的収支）

(単位: 百万円、%)

区分		年度							
		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収	1. 医 業 収 益 a	172	165	167	2	181	178	175	172
	(1) 料 金 収 入	158	150	151	1	166	163	161	158
	(2) そ の 他	14	15	16	1	15	15	14	14
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	90	124	124	0	130	127	128	122
	(1) 他会計負担金・補助金	70	103	103	0	107	107	107	107
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	20	21	21	0	23	20	21	15
	(4) そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	経 常 収 益 (A)	262	289	291	2	311	305	303	294
入	1. 医 業 費 用 b	283	303	281	▲ 22	304	293	284	267
	(1) 職 員 給 与 費 c	156	174	157	▲ 17	166	164	161	159
	(2) 材 料 費	17	17	16	▲ 1	20	20	20	19
	(3) 経 費	53	54	54	0	65	63	62	61
	(4) 減 価 償 却 費	56	57	52	▲ 5	52	45	40	27
	(5) そ の 他	1	1	2	1	1	1	1	1
	2. 医 業 外 費 用	7	8	7	▲ 1	8	7	7	7
	(1) 支 払 利 息	1	1	1	0	1	1	1	1
	(2) そ の 他	6	7	6	▲ 1	7	6	6	6
	経 常 費 用 (B)	290	311	288	▲ 23	312	300	291	274
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 28	▲ 22	3	25	▲ 1	5	12	20	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	36	1	0	▲ 1	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	27	0	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	9	1	0	▲ 1	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 19	▲ 21	3	24	▲ 1	5	12	20	
累 積 欠 損 金 (G)	263	284	260	▲ 24	285	280	268	248	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	196	210	219	9	221	158	144	125
	流 動 負 債 (イ)	56	62	61	▲ 1	38	42	44	43
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 140	▲ 148	▲ 158	▲ 10	▲ 183	▲ 116	▲ 100	▲ 82	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	90.3	92.9	101.0	8.1	99.7	101.7	104.1	107.3	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 81.4	▲ 89.7	▲ 94.6	▲ 4.9	▲ 101.1	▲ 65.2	▲ 57.1	▲ 47.7	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	60.8	54.5	59.4	4.9	59.5	60.8	61.6	64.4	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	90.7	105.5	94.0	▲ 11.5	91.7	92.1	92.0	92.4	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	-	-	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	-	-	-	-	-	-	-	-	

団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (鶴田診療所)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収 入	1. 企業債	6	3	3	0	0	5	0	0
	2. 他会計出資金	2	1	1	0	1	0	0	0
	3. 他会計負担金	16	17	17	0	20	9	10	9
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	24	21	21	0	21	14	10	9
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	24	21	21	0	21	14	10	9	
支 出	1. 建設改良費	10	5	5	0	2	5	2	2
	2. 企業債償還金	33	34	34	0	39	17	19	18
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	43	39	39	0	41	22	21	20
差引不足額 (B)-(A) (C)	19	18	18	0	20	8	11	11	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	19	18	18	0	20	8	11	11
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	19	18	18	0	20	8	11	11	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差B-A)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	70	103	103	(0)	107	107	107	107
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	18	18	18	(0)	21	9	10	9
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	88	121	121	(0)	128	116	117	116

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。